



# GIFTS & TASKS

"DONS et DEVOIRS"

*Helping each other live the Gospel at home & around the world*

*International Organization of Marianist Lay Communities (IO-MLC)*

*Region of North America, Asia, Australia, and Ireland*

**SEPTEMBER - 2018**

GIFTS&TASKS 9月号

## アメリカの大草原からご挨拶いたします！

私はこの「地域代表」という新しい役職に胸が躍っています。しかし、スーザンから大きな責任を引き継ぐことになりました。

生涯に亘る教育者として、私はグループを手助けしたり、記事を書いたり、子供や成人を教えたりすることに慣れていました。しかし、ニュースレターをまとめたりすることは、全く初めての経験です！スーザンからの多くの助力とコンスタント・コンタクト社の技術サポートスタッフの支援を得て、ついにここに至っています。

私の最初の記事で、少し私自身のことを皆さんにお知らせすると決めました。私はラリーという主人と、カンサス州の Hoyt(人口 500 人以上)と Mayetta(人口 300 人以上)の間にあり、大草原帯ポタワトミ居留地(人口 400 人以上)の近くの 100 エーカーの牧場に住んでいます。近くにマリア会や汚れなきマリア修道会の修道院はありませんが、私の兄がマリア会の司祭なので、これまでずっとマリアニストだのように感じています。私たちの家族は、兄が高校（セント・ルイス）、修練（ウィスコンシン）、大学（サン・アントニオ）、大学院（シカゴ）を終える時、休暇のすべてを兄のところを訪問することに使いました。

兄がどこに行っても、私たちは兄の後を追って行きました。そして、いつも私たちはホスピタリティと家族精神のある素晴らしいマリアニスト・カリスマに浸りました。家族のどなたかがマリア会や汚れなきマリア修道会に入った方は、私が意味することを分かって頂けると思います。

それでおおよそ 20 年前に、私はマリアニスト家族に魅力を感じているだけでなく、より正式な養成を受けることにしました。私は NACMS の授業を取ったり、黙想会や催し物に出席したり、創立者とカリスマについてさらに伝統的に学び始めました。

私はこの霊的な旅に加わるように友人を誘い始めました。今、私は 3 つの MLC のメンバーです。ひとつは「円卓の聖母」というバーチャルな共同体です。これは NACMS のコースから生まれました。これは地球上で私たち 8 人を繋げています。私たちは 2005 年から一緒に活動してきています。最初の 12 年間、週日毎にレクティオ・ディヴィナをオンラインで投稿しました。今は霊的な道筋に沿って互いに支え合うために、ビデオ会議プラットフォームを使って毎月会合を開いています。

私の第 2 の MLC は、月に一度電話で会合を開くほぼ地元の女性のグループです。私たちは、回勅や教会の指導者の伝記と同じように、基礎となる文書や「徳の体系」のようなより詳細な霊的資料を読んだり勉強しています。しかし、マリアニストとしての教会の在り方に、私たちが本当に関わり続けるのは「使徒職としてすべての人は平等である」という伝統です。

そのころ私たちの教区の小さな信仰共同体で、ひとつの発展が生まれました。そのグループはミレニアムの前の教区の刷新の一端として、共に会合を始めました。おおよそ 5 年前、私はその人たちと読むために、いくつかマリアニストの資料を持って行き始めました。「マリアニストに関すること」のパンフレット、創立者を紹介する簡単な本、ヨセフ・ステファネリ師の何冊かの本などです。私たちは年に 1 回か 2 回、週末にアル・マックメナミー師 (Fr. Al McMenemy) が私たちのところを訪問するようお願いしました。ケープ・メイにあるマリアニスト家族黙想センターのジョアン・マックラケン、クリス・スリアノ、パティ・ジャルビスの助けをかり、私たちの教区で女性の MLC と一緒に、年に一度の女性向け黙想会を開催しました。そして、私はアメリカの他の都市で開催されたマリアニストの催し物に、このグループの女性たち何人かが出席するよう誘いました。

ついに私はこのグループに信徒マリアニスト共同体になりたいかどうかと尋ねました。そして、もちろん彼女らは同意しました！それからすぐおおよそ 3 年もの間、私たちは信徒マリアニストであることについて学んできています。その最良のところは、それが小さな田舎の教区の文化の中で、とても前向きな影響をおよぼしているということです。それはまさに、人々が最良の自分になるために、手を伸ばしてその人たちに触れるという、マリアニスト家族の受容と気遣いの精神です。

従って私はこれから 4 年間、皆さんと共に働くことを本当に楽しみにしています。アメリカとカナダでのリーダーシップ評議会によって、養成に関して北米で胸躍ることが起こっています。そして、国際チームは信徒の養成と同様に、青年向けプログラムを発展する

ことに焦点を当てています。どのように国際チームが教会内の性的虐待の危機に取り組む方法を討議していくかについて書かれた、ニュースレターの最後にあるスーザンの記事をまた見直します。私たちのマリアニスト活動には、世界中で分かち合う知恵があります！

あなたとあなたの MLC に平和と恵みがありますように。

マルセタ・フレミング・ライリー

北米/アジアの地区代表



## Featured region : ハワイ

ハワイの信徒マリアニストのすばらしいグループは、最近、オアフ島の女性コミュニティ矯正センター（WCCC）でこどもの日を組織しました。彼らは、収容された女性、Pu'a Foundation を支援することに専念する地元の組織と協力していました。刑務所の職場の女性も大きな助けとなりました。ランチ、エンターテイメント、工芸品、ゲーム、音楽などは、囚人の一部が楽しい雰囲気の中で子供と再会する機会となりました。この種の活動は、女性が社会復帰を準備する際に重要な役割を果たします。

信徒マリアニストは、MLC のメンバーだけでなく、シャミナード大学やセントルイス・スクールの教職員も参加しています。子供たちの顔の写真を掲載することはできませんが、楽しい雰囲気をつかむことができるでしょう。赤い T シャツの女性は、投獄された女性の中のボランティアです。最後の写真はセントルイス・スクールの校長グレン・メデイロスと一緒に楽しむ教職員です。彼はよく知られている地元のエンターテイナーです。



子どもの日を組織するのを手伝った女性コミュニティ矯正センターのすべてのボランティア



マリアニストスクールの教員と協力して、拘留された女性のために  
このイベントを企画するハワイの信徒マリアニスト



グレン・メデイロス(セントルイス・スクール校長)と、一緒に楽しむ教職員

# Around the World 2018 Sep.

**編集責任者のことば：**この記事は最初、スーザンが8月号に載せたものでした。しかし、私はそれをもう一度の見る必要があると思いました。10月後半に世界マリアニスト家族評議会に出席する予定です。おそらく、信徒マリアニストとして私たちが、必要とされている変化をどのように進展させることが出来るか討議することになるでしょう。スーザンの考え方がいい出発点になると思われま

## 性的虐待と隠蔽について思うこと

韓国での会議の少し前、バチカンの信徒、家庭、いのちの部署は、カトリック教会に公認されているすべての信徒団体（MLC国際組織はこれに含まれています）に、子供たちと傷つきやすい大人を守るための青少年保護評議会（PCPM）の努力に、どのように従うかについての声明を明らかにするために、メッセージを送りました。国際チームはEメールでこれを討議したところ、新しい国際チームの選挙がわずか6週間後に迫っているので、新しいチームにこの指令書について、討議の続行を課すことを決定しました。

マリアニスト家族は、この地域の教会に奉仕する上で、**独特な地位**を占めています。性的虐待と隠蔽のスキャンダルは、クラリカリズム（聖職権主義）一司祭の地位と教会の聖職位階制を不当に擁護することに根差しています。これは権力の濫用と、どのようなコストを払っても教会の評判を守りたいという誘惑に繋がります。



「使徒職としてすべての人は平等である」という**弟子の平等性**は、マリアニスト・カリスマの重要な次元です。マリア会は**混合構成**が特徴です。これらの原則の両方とも、マリアニスト家族が奉仕者として、謙虚な役割を果たす助けとなっています。誰も力、地位、特権を持ちません。私たちはマニフィカトでマリアと一緒にいます。「思い上がる者を打ち散らし、権力ある者をその座から引き降ろし、身分の低い者を高く上げ」。私たちの共同体の構造は、身分に基づいてできているのではなく、単に役割が違うということに基づいています。これは教会の奉仕で、私たちが捧げることができる恵みです。

- ・ 被害者に正義をもたらす
- ・ 高潔な司祭を支援する
- ・ 神のある特定の民を他の人より価値があると仄めかす教会の構造を変革する

祈りや悔悛するだけではなく、教会の奉仕で、平等なものとして手に手を取って歩く経験をしていきましょう。

スーザン・ヴォート  
退任する北米/アジア地区代表

### 編集責任者の要望：

10月末にローマで開催される世界マリアニスト家族評議会の会議に出席する時、私は信徒マリアニストとして、「信徒、家庭、いのちの部署」に提言し得る、教会の構造と伝統を具体的に変革していくいくつかの例を取り上げたいと思います。私の目的は、そこに存在する聖職者崇拜の文化を改善する過程で、マリアニスト家族がリーダーとなるよう励ますことです。皆さんのお考えと提言を私に送ってください。宛先は以下です。

[marcetar@gmail.com](mailto:marcetar@gmail.com)

## 祈りましょう

性的虐待と隠蔽のスキャンダルにどのように対応するかについて、識別する知恵を与えてください。

正しいことを実行する勇気を持てますように。

